

# 声

業界の

● ログクラフト事業協同組合

理事長 齋藤友一氏



## 組合事業は？

当組合は、峡南地域の森林資源を活用したログハウスの建築、ログ遊具の製造販売及びログハウス建築を体験したいという方を対象に「ログビルディングスクール」を開催しています。

## ログハウスとは？

ログハウスとは、丸太を積み重ねることにより壁を構成している建物のことを言います。

ログハウスの特徴は、断熱性に優れているため、夏は涼しく、冬は暖かく過ごせることに加え、木のぬくもりを感じることができるところです。

また、ログハウスには、大きく分けて「マシンカット」「ハンドカット」の2種類の工法があります。

「マシンカット」とは、その名の通り機械による製材加工をほどこした丸太を組み合わせる工法であり、安定的な大量生産が可能なため住宅メーカーなどが提案するログハウスの大半は、この工法になっております。

一方「ハンドカット」とは、特殊な加工をしていない丸太を組み合わせたものであり、製作に難しい技術を伴わないため、丸太小屋などと呼ばれ、簡易な山小屋などで利用されています。また、丸太がそのままの形で内装になっているため、マシンカットのログハウスや一般的な住宅と比較すると、豪快さや味わい深さがある反面、住みやすさ等の機能性には優れていない一面があります。

## 業界の現状と今後の展開

「ハンドカット」のログハウスは自然を活かした建物のため、住むためには木材の性質や特徴を理解する事や、定期的なメンテナンス(害虫駆除、塗装加工等)が必要となります。そのため、人々が忙しく生活する近年では、建築件数は減少傾向にあります。しかし、リタイアした団塊の世代、時間にゆとりを持てるようになった世代には、根強い人気があります。中には、当組合のスクールに通った後、ご自身で「ハンドカット」のログハウスを建てる方もいます。

「ハンドカット」のログハウス作りは、丸太を組み立てていくため、誰もが子供の頃に体験したプラモデル製作を思い起こすような「遊び心」のある建物だと思えます。また、時を忘れ、自然に触れ、個々の好きなことに時間を費やすには最適な空間でもあります。今後も、スクール等を通じて魅力を伝えていき、人々に安らぎと憩いの空間をもたらすログハウスを提供していければと思います。

